

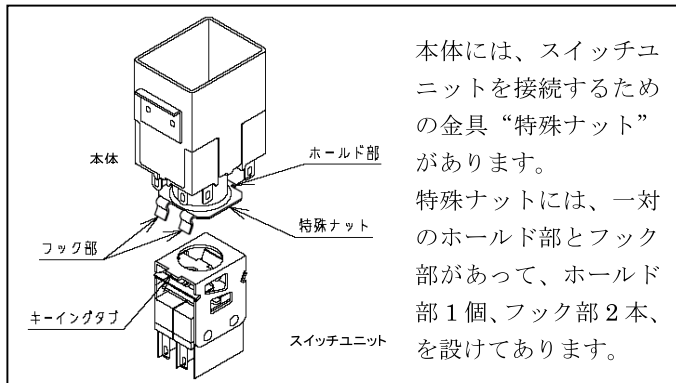
照光式押しボタンスイッチ シリーズ2 組立説明書



スイッチが動作した後は、ボタンに無理な力を加えないでください。
スイッチの動作後、ボタンに無理な力を加え続けると、機械的結合部が緩んだり、スイッチユニットが脱落するなど、スイッチが壊れることがあります。

1. スwitchユニットの取付けと取外し

スイッチユニット“S2Dシリーズ”を、オペレータインジケータ本体“S2Cシリーズ”に取付け・取外しするときは、次の手順で行なってください。



本体には、スイッチユニットを接続するための金具“特殊ナット”があります。
特殊ナットには、一対のホールド部とフック部があって、ホールド部1個、フック部2本、を設けてあります。

1-1. スwitchユニットの取付け方

特殊ナットのホールド部にスイッチユニットのブラケットを引っ掛けてください。このとき、スイッチユニットのブラケットにキーイングタブのあるものは、“特殊ナット”にある2本のフックの間に、タブが収まるようにあらかじめ位置合わせをしてください。

スイッチユニットの片側を本体の特殊ナットのホールド部に奥まであてがいます。そこを支点に手でスイッチユニットを回転させるようにして、2本のフックにスナップインさせて固定してください。堅い場合には、下記の要領でラジオペンチを使用してください。



フックへの位置合わせが不適切な場合や、ホールド部奥へのあてがい方が不十分な場合には、フック部が変形することがあります。フック部を変形させないように、取り扱いには十分に注意してください。

ラジオペンチでスイッチユニットのブラケット下面と、本体の特殊ナットをはさみ、締め付けてください。特殊ナットの2本のフックにスイッチユニットが固定されます。このとき、2本のフック部を変形させないように注意してください。



スイッチの取付け・取外しを数回繰り返すと結合強度が弱くなる場合があります。取付け作業においてスナップインさせるときに緩いと感じられた場合は、特殊ナットが変形している可能性があるため、特殊ナットのフック部を内側に押し込み、戻してください。このとき、フック部に損傷を与えないように、また押し込み過ぎてスイッチの動作を阻害しないように、あるいはスイッチが外れなくならないように、十分に注意してください。ボタンを操作して、スイッチの結合強度があることと、スイッチ動作が正常であることを、確認した上で運転を再開してください。

1-2. スイッチユニットの取外し方

オペレータインジケータ本体の“特殊ナット”にある2本のフックの間で、本体の特殊ナットとスイッチのブラケットとの結合面に、時計ドライバなど剛性の高い薄い金属性の工具を挿入し、そっとこじ開けてください。このとき、2本のフックを変形させないように注意してください。外側に向かって変形させると、本体とスイッチとの結合強度が低下するので、特に注意してください。

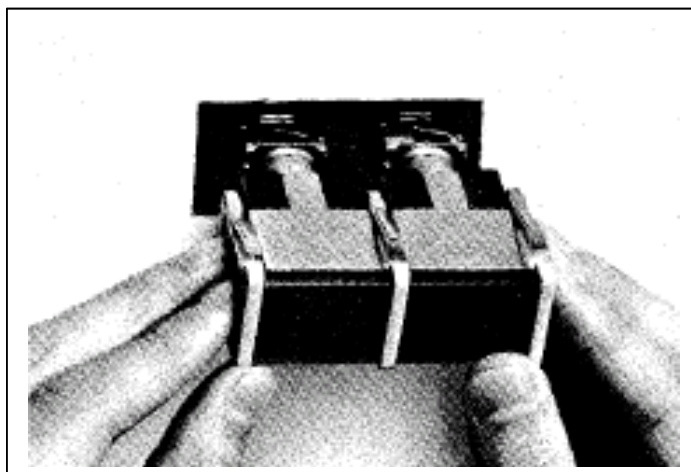


上記以外の方法で取外しすると、フック部を変形させることがあるので避けてください。フック部を変形させないように、取り扱いには十分に注意してください。

2. パネルへの取付けと取外し

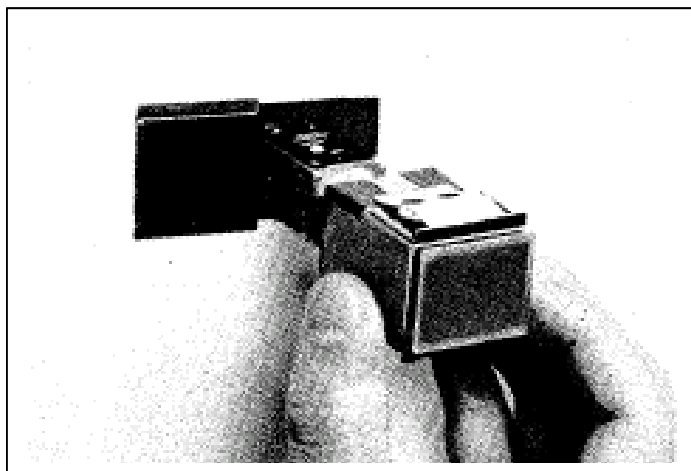
2-1. バリア形ユニットの取付け・取外し

- (1) 単体取付けの場合、ユニットをパネルの取付け穴に挿入する前に、マウンティングバリアを、本体に組付けておきます。なお、連続取付けの場合には、必要個数だけ連結しておきます。
- (2) マウンティングバリアを組付けたユニットまたは必要個数連結したユニットを、パネル取付け穴に挿入し、バリアのリーフスプリングで固定されるまでパネル表面から押し込んでください。
- (3) ユニットの取外す場合、単体取付けは、パネル裏面から押し出し、パネル表面に抜き出します。連続取付けの場合には、個々に取外すことができないので、連続取付けされているユニット全体を取外した後、個々のユニットに分離してください。



2-2. フランジ形ユニットの取付け・取外し

- (1) フランジ形ユニットは、単体取付けの場合も、連続取付けの場合も、取付け方法は全く同一です。パネル表面から1個ずつ取付け穴に挿入し、取付けていきます。
- (2) ユニットの取外す場合は、単体取付けの場合も、連続取付けの場合も、任意のユニットをパネル裏面から押し出し、パネル表面に個々に抜き出すことができます。



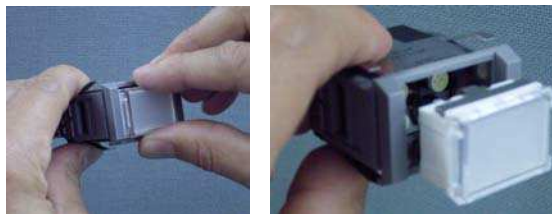
3. ランプホルダー部の取付けと取外し

ランプホルダー部“S2Tシリーズ”を、オペレータインジケータ本体“S2Cシリーズ”に取付け・取外しするときは、次の手順で行なってください。

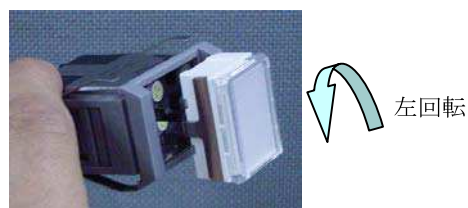
尚、本体とホルダーには、各々凸部が設けられていて、組付けには方向性があります。

3-1. ランプホルダー部の取外し方

① ボタン部が止まるまで、手前に向かって引き出してください。



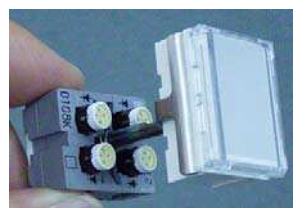
② そのままの位置で、ボタン部を90°左に回転させてください。



③ この状態で、ボタン部を本体から取り出してください。

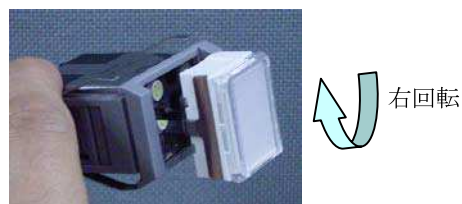
3-2. ランプホルダー部の取付け方

① ボタン部が十分に引き出されていることと、ランプホルダーとボタン部とが90°異なった方向になっていることを確認する（上述③の状態）。



② ランプホルダーを、本体内に止まるまで挿入する。

③ ボタン部を少し押し込みながら、右に90°回転させる。
※このとき、回転しない場合は、本体との向きが合っていない可能性があります。ランプホルダーを一度引き出し180°向きを変えてから、再度挿入し直してください。



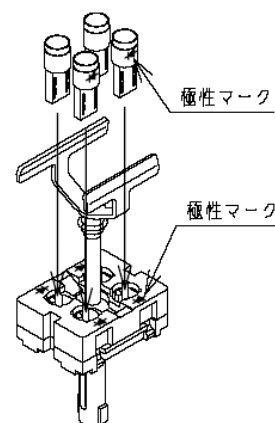
④ ボタン部の向きが本体の向きと一致したら、ボタン部を静かに押し込んでください。



4. LED ランプの取付けと取外し

LED ランプをランプホルダー部に取付けまたは取外しするときは、ランプホルダーを本体から取り出した状態で行ないます。このとき、ランプ工具などの工具を必要としません。

ランプホルダーには、LED ランプを挿入するための穴が4か所あり、ダイオードの極性マークが表示されています。LED ランプにも極性マークが表示されています。LED ランプとランプホルダー両方の極性マークが同じ向きになるように、LED ランプを穴に挿入し組付けてください。極性マークの組付け向きを間違えると、正しいLED回路を構成できなくなるので、注意してください。



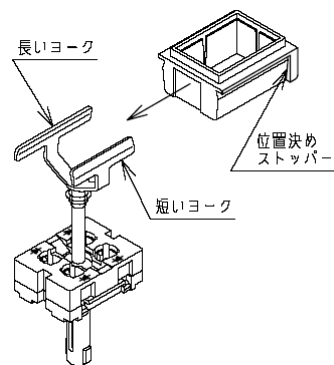
5. ボタン部の取扱い

5-1. ボタン部の取付けと取外し

ボタン部をランプホルダー部に取付けまたは取外しするときは、ランプホルダーを本体から取り出した状態で行ないます。ランプホルダーのヨークに対して、ボタン部をスライドインさせる方式になっています。取付けと取外しには方向性があるので、注意してください。

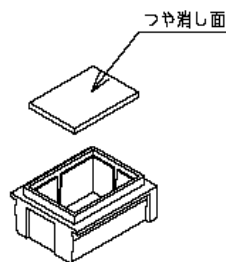
ランプホルダーのヨークに対して、ボタン部をスライドインさせた後、短いヨークがボタン部の位置決めストッパーに突き当たるまでスライドさせます。長いヨークとボタン部の両端とが一致していることを確認してください。

取外しの際は、組付け時と逆方向にスライドさせます。



5-2. カラープレートの取付け

カラープレートのつや消し面が、表面側になるように組付けてください。



6. 配線上の取扱い



結線は装置の電源を切った状態で行なってください。使用電圧によっては感電したり、機械が突然始動したりします。



リード線をはんだ付けする際、はんだやフラックスを余分につけないでください。はんだごてによる熱し過ぎに注意してください。絶縁抵抗や耐電圧などの性能低下を引き起こしたり、あるいはスイッチを破損することがあります。

はんだ付け作業

はんだ付けは 60W 以下のはんだごてを使用し、350℃以下 5 秒以内に行なってください。また、はんだ付け作業後、1 分以内は外力を加えないようにしてください。

使用電線サイズ

配線に使用する電線は次のものをご使用ください。

- ・ 1 端子に 1 本だけ配線するとき : 0.75mm²以下のより線
- ・ 1 端子に 2 本を配線するとき : 0.5mm²以下のより線

7. 保守に関して

ボタンなどは手で触れるために汚れがつきます。これらの汚れをとるときは、中性洗剤をご使用ください。シンナーや酸などを使用すると樹脂成形品に損傷を与えます。

お問い合わせは、下記代理店へお願いいたします。

人にTouch 世界にTouch
Sunmulon
株式会社 サンミュロン

本 社 : 〒142-0041 東京都品川区戸越3丁目1番10号
Tel.(03)3783-6721 Fax.(03)3785-0873

岩手工場 : 〒029-4202 岩手県奥州市前沢区白山字田高82
Tel.(0197)56-3201 Fax.(0197)56-2140

(ご注意)この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

〈サンミュロンホームページ〉<http://www.sunmulon.co.jp>